

学力調査等の状況	
<p>令和5年度全国学力・学習状況調査の結果を見ると、国語(平均正答率72%)、英語(54%)は、全国平均(69.8%、45.6%)を上回り、東京都の平均とほぼ同じであった。数学(50%)は、全国平均(51%)、東京都の平均(54%)を下回り、昨年度の本校の平均(53%)も下回った。また、数学の正答率が33%(15問中5問)である生徒が全体の14.4%おり、一番人数が多い結果となった。昨年度と同様に、「今回の数学の問題では、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか。」という質問に対する回答で「全ての書く問題で書くことを努力した」が、本校(41.3%)は全国平均(57.1%)を下回っている。また、全国・東京都に比べて、家庭学習の取り組み時間が少ないことがわかった。学力以外の面では、「授業や学習へのICT機器の活用」について、全国平均を大幅に上回り、よく活用できていることがわかった。また、「自分にはよいところがあると思いますか。」という質問では、「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計が88.2%で、全国・東京都(80%)を上回り、自己肯定感の向上が伺える。</p>	

見えてきた課題	
<p>学力調査の結果から、昨年度に引き続き、数学について、書いて説明する意欲や能力が低いことが課題であることがわかった。記述問題について、練習が必要で、授業やテストなどで多く取り入れていく。また、正答率が低い生徒が多いことがわかり、基礎基本についても徹底していく。学習面全般では、家庭学習の取り組み時間が少ないことがわかった。学力以外の面では、「授業や学習へのICT機器の活用」について、全国平均を大幅に上回り、よく活用できていることがわかった。また、「自分にはよいところがあると思いますか。」という質問では、「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計が88.2%で、全国・東京都(80%)を上回り、自己肯定感の向上が伺える。</p>	

授業をデザインする8つの取組について	
ICT機器の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクターを活用した授業を行う。 ・Chromebook等を活用し、共同編集作業に取り組みさせる。
見通しをもたせる導入	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に、何を学ぶか、どのように学ぶか、見通しをもたせる。 ・学習の流れやめあてを提示する。
振り返りの設定	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてを振り返らせる。 ・本時の学習を自己評価させたり、学習内容をまとめさせる。

各教科における課題を改善するための指導の重点				
	年度当初に設定した重点	第1学年	第2学年	第3学年
国語科	<ul style="list-style-type: none"> ○「文章読解力・文章作成力・語彙力」の育成を図るために、教科の特性に応じた言語活動を充実させる。 ○学習の目的を明確にしたワークシートや副教材等の活用を通して、基礎的な読解力・語彙力・漢字力を身に付けさせる。 ○Chromebookを活用したプレゼンを行い、表現力の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○単元に応じて、話し合い活動、スピーチなどの言語活動の機会を確実に設定することができている。 ○授業では基本的にワークシートを活用し、学習の流れや目的を明確にしながら、取り組めるようにしている。語彙力や漢字力に関しては、別途時間を設定するなど、課題がある。 ○Chromebookを活用して、プレゼンテーションを行うことができた。また、それ以外の単元においても、学級の意見を共有したり、協働学習を行うことで、表現力の育成を図ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ICTの活用…プロジェクターとインターネットとスライドを使って短歌の調べ学習に班単位で取り組み、意欲的に取り組ませることができた。 ○漢字学習は授業の開始時に短時間で取り組み、徐々に語彙力を向上させている。 ○板書で問いを明確に提示し、二人組や班単位で話し合いをすることで意欲的に読解に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○Chromebookで文章を作成し、生徒同士で推敲することで文章作成力向上に努めている。授業内で必ず発問に対して話し合いの機会を設け言語活動の充実を図っている。 ○週1回漢字学習の時間を設け、基礎的な語彙力と漢字力を定着させるようにしている。 ○Chromebookを活用したプレゼンは、11月以降を予定している。
社会科	<ul style="list-style-type: none"> ○ICT機器を活用した授業を通して、生徒の関心・意欲を高めさせる。また生徒自身がICT機器を活用した調べ学習を通して、考える力やプレゼン能力の育成を図る。 ○本時のめあてを明示し言葉の意味を解説することにより、基礎的な内容を理解させる。また、小テストを実施することにより、基礎学力の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ICT機器を活用してスライドを作成したり、ジャムボードに意見を共有したりなど、効果的な活用ができた。しかし、発表機会を十分に確保できなかったのが、今後の課題としたい。 ○単元の目標、本時の問いを生徒に提示し、共通理解を図ることができた。一方で、小テストを繰り返して行っていないので、2学期以降改善していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ICT機器を活用して調べ学習を通してスライドを作成し、職員と協働学習へつなげられた。一方で、取組が不十分な生徒への支援等が満足にできなかった。 ○本時のめあてを明示し、言葉の意味を解説することにより基礎的な内容を理解させることができた。しかし、ICTを活用しての小テストを実施することはできなかったが、連続性に欠けた。今後は毎時間で実施できるように取り組んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○調べ学習やプレゼンテーションを通して、考える力やプレゼン能力の育成を図ることができた。しかし、ICT環境がなかなか整備されなかったため、ICT機器の活用を十分にすることができなかった。 ○語句の丁寧な説明や定期的な小テストの実施により、基礎的な内容の理解や定着をさせることができた。
数学科	<ul style="list-style-type: none"> ○授業のめあて、目標を毎時間提示し、生徒に学習内容の見通しをもたせる。 ○ICT機器を授業に活用し、課題を視覚的にとらえ、生徒が理解しやすいような提示方法を工夫することにより、数学的な見方や考え方の伸長を図る。また、話し合い活動や発表を活性化させる。 ○毎時間、授業内容を振り返らせ、学習内容の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業のめあて、目標をほぼ毎時間提示し、見通しをもたせることができた。 ○クロームブックを活用して、立体図形の見方、考え方の理解を促した。また、視覚的に例示する等、生徒の理解が深まるよう工夫することができた。また、話し合い活動や発表の機会を設けることができた。今後も実施する。 ○毎時間、振り返りが行えなかったため、今後に結び付く振り返りができるよう改善していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業のめあて、目標を毎時間提示し、見通しをもたせることができた。 ○クロームブックを活用して、視覚的に例示する、生徒自身がグラフを作成する等、生徒の理解が深まるよう工夫することができた。また、話し合い活動や発表の機会を設けることができた。今後も実施する。 ○毎週、振り返りを行い、学習内容の定着を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業のめあて、目標を毎時間提示し、生徒に学習内容の見通しをもたせることができた。 ○ICT機器を授業に活用し生徒が理解しやすいような工夫することができた。話し合い活動や発表の場を持つよう授業立案していく。 ○テストごとに学習内容の振り返りを行っているが、毎時間の授業内容を振り返りを行うことができなかったため、今後そのような場を持つよう授業改善していく。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○授業の始めに目標を提示し、見通しをもたせるとともに、授業の終わりに振り返りを行い、学習内容の深い理解につなげる。 ○実験・観察が不可能な場合、ICT機器を用いて動画を見せたり、原理の説明したりする。 ○実験や観察結果のまとめ、発表にICT機器を活用することにより、自然における事象・現象を科学的に思考する力や言語活動の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業のねらいは毎回提示し、見通しを持たせるとともに、実験ならば「仮説」や「予想」を立てさせてから実験を行った。自分の考えを小グループで発表しあい、共有した。しかし、振り返りの時間が十分とれず、宿題になってしまうので授業の、時間配分が課題である。 ○実験の結果をICT機器で共有し、円滑に考察へつなげることができた。 ○実験をやりつつもクロームブックの入力がもっと素早くできるよう、指導していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業の終わりに振り返りを行い、学習内容の深い理解につなげた。 ○実験・観察が不可能な場合、ICT機器を用いて動画を見せたり、原理の説明したりした。 ○実験や観察結果のまとめ、発表にICT機器を活用することにより、自然における事象・現象を科学的に思考する力を今後も養っていく。 ○日常生活に使われている事柄に現象を落とし込んで説明できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○毎回の授業で目標を提示し、授業後に振り返りを行っている。 ○モデルを使って観察実験を行い、生徒たちが説明を考えたり、原理をまとめるような授業展開を行っている。 ○実験結果をレポートやスライドにまとめ、まとめた発表したりする活動を多く行い、科学的に施行する力や言語活動の充実を図った。

⑪-2授業改善推進プラン(中間改善計画)

外国語科	<p>○デジタル教科書、ICT機器を用いた導入と活動で生徒の学習意欲と思考力の向上を図る。 ○スピーチ、ロールプレイングを主としたパフォーマンステストを行い、主体性と表現力の育成を図る。 ○ワークシートやアプリケーションツールを用いて学習内容の振り返りと反復練習を行うことにより、基礎基本の定着を図る。</p>	<p>○デジタル教科書、ICT機器を用いた導入と活動で生徒の学習意欲と思考力の向上に努める。 ○スピーチ、ロールプレイングなどの発表を通して、主体性と表現力の育成を図る。 ○学習内容を振り返り、反復練習を行うことで基礎基本の定着を図る。</p>	<p>○デジタル教科書、ICT機器を用いた導入と活動で生徒の学習意欲の向上、基礎知識の定着に努める。 ○ロールプレイング、プレゼンテーションなど発表を通して、主体性と表現力の育成を図る。 ○学習内容を振り返り、反復練習を行うことで基礎基本の定着及び応用力をつける。</p>	<p>○ICTを活用した導入やデジタル教科書の活用により、学習意欲の向上、基礎基本の定着に努める。 ○スピーチやリーディング等のパフォーマンステストを行い、言語活動の充実を図るとともに、表現力の育成を図る。 ○学習内容を振り返りながら、基礎基本の定着をめざした反復練習を行うワークシートの作成に努め、基礎基本の定着を図り、応用力をつける。</p>
<p>年度当初に設定した重点</p>				
<p>第1学年</p>				
<p>第2学年</p>				
<p>第3学年</p>				
音楽科	<p>○授業の始めに目標や活動内容を説明し、生徒が見通しをもって学習に取り組めるようにする。 ○ICT機器を活用して生徒が視覚的に学ぶことができる授業展開を工夫する。 ○表現活動について、学習を振り返る時間を設定し、「できたこと」や「課題」を考えさせ、次の授業に生かせるようにする。</p>	<p>○授業の初めに目標や活動内容を説明し、学習に取り組めるようにした。 ○ジャムボードを使い、鑑賞の授業の意見交換を行った。発言するよりも活発な意見交換ができ、より考えを深めることができました。 ○歌唱や器楽において、振り返りカードを活用し、毎時の学習目標設定と振り返りをする時間を確保した。</p>	<p>○授業の初めに目標や活動内容を説明し、学習に取り組めるようにした。 ○鑑賞の授業で、楽器の構造を中心に映像を見せて指導した。今後意見交換でICTを活用する機会を設けたいと思う。 ○歌唱や器楽において、振り返りカードを活用し、毎時の学習目標設定と振り返りをした。授業内に時間が確保できず、宿題になることがあった。</p>	<p>○授業の初めに目標や活動内容を説明し、学習に取り組めるようにした。 ○ジャムボードを使い、鑑賞の授業の意見交換を行うことで、考えを深められたところがあった。しかし、時間がかかり、活用の仕方に課題が残った。 ○歌唱や器楽において、振り返りカードを活用し、毎時の学習目標設定と振り返りをした。授業内に時間が確保できず、宿題になることがあった。</p>
美術科	<p>○授業の目標や流れを生徒がいつでも見られるようにし、生徒が見通しをもって学習に取り組めるようにする。 ○Chromebookを活用し、資料収集、意見共有を行わせることにより、主体的に対話的な学習につなげる。 ○Chromebookを活用し、作成した作品のまとめページを作り、振り返らせることにより、学習内容の深い理解につなげる。</p>	<p>○授業の流れについて、板書やGoogleサイトで分かるように示した。 ○作品をもとに話し合う活動を行い、対話的な学習をすすめた。 ○Chromebookを活用し、作品のポートフォリオページを作成した。</p>	<p>○授業の流れについて、板書やGoogleサイトで分かるように示した。 ○作品をもとに話し合う活動を行い、対話的な学習をすすめた。 ○Chromebookを活用し、作品のポートフォリオページを作成した。</p>	<p>○授業の流れについて、板書やGoogleサイトで分かるように示した。 ○作品をもとに話し合う活動を行い、対話的な学習をすすめた。 ○Chromebookを活用し、作品のポートフォリオページを作成した。</p>
保健体育科	<p>○授業導入時における補強運動の工夫により、体力の向上を図る。 ○学習カードの活用と単元テストでの問題の工夫により、種目の関心を高め、知識の定着を図る。 ○ICT機器の活用により、積極的に自己の課題改善に取り組む態度の育成を図る。 ○アクティブラーニングを取り入れることにより、思考力・判断力を高める。</p>	<p>○準備運動の中に筋力強化や柔軟運動、ランニングを導入して体力の向上を図っている。 ○学習カードの形式を単元によって適したものとしている。テストはフォームテストとし、第1観点だけでなく第2観点を評価する問題も作成している。 ○ICT機器を活用して単元のまとめの作成や、動作確認のために動画を視聴するなど活用できている。 ○保健分野の単元のまとめを作成する際に活用している。</p>	<p>○ホワイトボードなどを活用し、授業の目標を掲示して、内容の見通しをもたせた。 ○体力テストの結果を踏まえ、補強運動の工夫をした。また単元の特性に応じた運動も取り入れた。 ○学習カードの内容を精査し、より充実したカードを作成し、活用した。単元テストでの問題の工夫を行い、種目の関心を高め、知識の定着を図る。 ○ICT機器を活用して単元のまとめの作成や、動作確認のために動画を視聴するなど活用できている。</p>	<p>○ホワイトボードなどを活用し、授業の目標を掲示して、内容の見通しをもたせた。 ○体力テストの結果を踏まえ、補強運動の工夫をした。また単元の特性に応じた運動も取り入れた。 ○学習カードの内容を精査し、より充実したカードを作成し、活用した。単元テストでの問題の工夫を行い、種目の関心を高め、知識の定着を図る。 ○ICT機器を活用して単元のまとめの作成や、動作確認のために動画を視聴するなど活用できている。</p>
技術・家庭科	<p>○授業のめあて、目標を毎時間提示し、生徒に学習内容の見通しをもたせた。 ○ICT機器を活用し、作業の手順などについてを視覚的に理解させる。 ○動画やアニメーション利用して、機械や道具の仕組み等の知識を深めさせる。 ○実習を通して原理や手順を理解させることにより、探究的な学習につなげ主体的に考える力を育てる。 ○話し合いや発表などの活動を取り入れ、思考力、表現力を高める。</p>	<p>○ワークシートに授業の目標を提示して、授業内容の見通しを持たせた。 ○各班の話し合いで、Chromebookのジャムボードを使い相互の意見を交換をおこなった。 ○個々のグループで話し合った内容を、クラス内でプロジェクトターを使用して発表した。</p>	<p>○ワークシートに授業の目標を提示して、授業内容の見通しを持たせた。 ○各班の話し合いで、Chromebookのジャムボードを使い相互の意見を交換をおこなった。 ○個々のグループで話し合った内容を、クラス内でプロジェクトターを使用して発表した。 ○作業動画をChromebookで提示して、作業手順を容易に理解できるようにした。</p>	<p>○ワークシートに授業の目標を提示して、授業内容の見通しを持たせた。 ○作業動画をChromebookで提示して、作業手順を容易に理解できるようにした。</p>
総合的な学習の時間	<p>・奈良、京都、横浜、東京など日本を支えている都市の歴史や伝統文化、食文化、労働などについて調査・研究・発表を行い、自己の将来の生き方について主体的に考える能力や態度を養う。 ・自ら課題を見つけ、「調べる」「まとめる」「発表する」など体験的・探求的な学習を充実させ、ICT機器を活用しながらプレゼン能力を高める指導を行う。</p>	<p>○横浜校外学習において、街作りについて自ら課題を見つけ設定をした。また、事前・当日・事後ではその課題を解決するための体験的・探求的な学習を充実させた。適宜ICT機器を活用できている。 ○職業人から話を聞くことで、自らの進路について主体的に考える機会を設定する。</p>	<p>○働くとは何か、やりがいなどを事前に調べ、職場体験を通じて体験した内容を新聞形式でまとめた。ルールを守れない生徒が多かった。将来について考えるきっかけとした。 ○校外学習では東京の都市の歴史や伝統文化・食文化について調べ、研究や発表を行う。自らまとめ、発表する力をつけていきたい。</p>	<p>○修学旅行において、京都や奈良の伝統分解にふれ、事前に学んだことを深めることができた。 ○修学旅行における企業訪問で、事故の将来の生き方について主体的に考えるきっかけとなった。</p>

⑪-2授業改善推進プラン(中間改善計画)

<p>特別の教科 道徳</p>	<p>・その時間の指導のねらいや重点が道徳的心情・道徳的判断力・道徳的態度のいずれの側面にあるのかを踏まえ、授業の意図及び視点(道徳的な価値観の理解、多面的・多角的な考え、道徳的価値を自分の生き方に結びつけた考え)を明確にする。 ・道徳的实践力を高める授業のあり方、評価方法に対する理解を深め、工夫する。</p>	<p>○道徳的心情・判断力・態度の育成のため、授業内における発問を工夫し、他者との対話の時間を確保することで、多角的・多面的な考えに触れる機会をもたせる。 ○問題解決的な学習や体験的な学習を取り入れることで、生徒自身が自らの行動を道徳的实践力を高めていけるような授業の計画を立てる。また、個人評価の場面を各学期に設定する。</p>	<p>○道徳的心情・判断力・態度の育成のため、授業内における発問を工夫し、他者との対話の時間を確保することで、多角的・多面的な考えに触れる機会をもたせる。 ○問題解決的な学習や体験的な学習を取り入れることで、生徒自身が自らの行動を道徳的实践力を高めていけるような授業の計画を立てる。また、個人評価の場面を各学期に設定する。</p>	<p>○道徳的心情・判断力・態度へ迫る、授業内における発問を工夫し、他者との対話の時間を確保することで、多角的・多面的な考えに触れる機会をもたせる。 ○問題解決的な学習や体験的な学習を取り入れることで、生徒自身が自らの人生を振り返り、道徳的实践力を高めていけるような授業の計画を立てる。また、個人内評価の場面を各学期に設定する。</p>
-----------------------------------	--	---	---	--

各教科における課題を改善するための指導の重点				
	年度当初に設定した重点	第1学年	第2学年	第3学年
<p>特別活動</p>	<p>・学級活動、生徒会活動、学校行事等の集団的活動を通して規範教育を推進し、リーダーを育成する中で、自主性と協調性を育み、生徒会活動・委員会活動等の活性化を図る。また、生徒と教師、生徒同士のふれあいを通して、社会性を身に付けた感性豊かな生徒集団の育成を図る。</p>	<p>○校内行事をはじめとし、各活動の中で中学生としての自覚をもたせる活動を行っている。上級生が活動する様子から学びながら、自主性と協調性の涵養を図っている。 ○校内行事等の中で、実行委員や係の活動を充実させ、役割を担わせることで、規範的な活動を意識させ、リーダーを育成している。その上で学級内での活動を充実させ、生徒同士の触れ合いの機会を確保し、感情豊かな生徒集団を育成している。</p>	<p>○校内行事をはじめとし、各活動の中で中学生としての自覚をもたせる活動を行っている。上級生が活動する様子から学びながら、自主性と協調性の涵養を図っている。 ○校内行事等の中で、実行委員や係の活動を充実させ、役割を担わせることで、規範的な活動を意識させ、リーダーを育成している。その上で学級内での活動を充実させ、生徒同士の触れ合いの機会を確保し、感情豊かな生徒集団を育成している。</p>	<p>○校内行事をはじめとし、各活動の中で最上級生として、後輩の手本となるような意識を持たせた活動を行っている。 ○校内行事等の中で、実行委員や係の活動を充実させ、責任を持って役割を担わせることで、リーダーの育成を進めている。</p>